

ニセ電話気づかせ隊活動事例発表



北九州市小倉北区「妙乗寺」
住職がニセ電話詐欺防止の説法

北九州市小倉北区の「妙乗寺」ではお年寄りを狙ったニセ電話詐欺の被害を防ごうと、住職が檀家のお年寄りたちに被害に遭わない心構えについて説法を行いました。

今回の説法は、住職にニセ電話詐欺対策の重要性を理解してもらった上、手口や被害者の心理状況を詳しく説明するなどのやり取りを経て完成しました。

説法の状況は平成27年5月18日に「RKB毎日放送」「今日感テレビ」「NHK」「ニュースブリッジ」で大きく取り上げられ、ニセ電話詐欺被害防止に大きく貢献されました。



上津校区防犯協会
寸劇で手口を分かりやすく解説

久留米市の上津校区防犯協会では、寸劇による地域住民への啓発活動を行っています。

寸劇は、約3年前から始め、これまでに多くの高齢者の方々に披露されています。

人気の曲や番組などを取り入れるなど工夫を凝らした台詞や場面設定で笑いを誘い、ニセ電話詐欺の手口をわかりやすく解説しています。

楽しく分かりやすい劇から、対策を学ぶ人は多く、今では校区外からも劇を披露してほしいとの依頼もあっています。



西区民生委員児童委員協議会
ニセ電話詐欺振り込ません隊の取組内容

西区では「ニセ電話詐欺振り込ません隊」を発足させました。

「振り込ません隊」発足当日の様子や、隊員による地域での積極的な防犯指導、啓発チラシの配布など、様々な活動の様子が新聞やテレビ等で取り上げられ、効果的な広報啓発活動となりました。

その他にも、西警察署と連携して防犯講話を実施するなど積極的に活動を展開しています。



第一生命保険株式会社
サラリーマン川柳を使い、面白おかしく注意喚起

第一生命北九州総合支社及び福岡総合支社では、社員が「ふくおか見守り隊」の名札を装着し気づかせ隊の一員として活動しています。

世間にもなじみのある、第一生命のサラリーマン川柳の中から「ニセ電話詐欺」に関わるものを選定しチラシに加工して、面白おかしくニセ電話への注意喚起を呼びかけています。

また、「感謝の声」という取組みに寄せられた「ニセ電話詐欺」に関わる情報を、支社大会等職員が多く集まる場で共有化し、一丸となって取組に当たっています。



ニセ電話 第4号 気づかせ隊通信

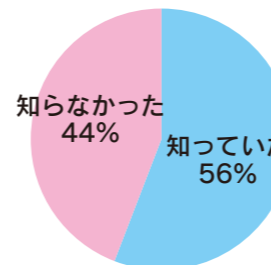
発行編集 福岡県警察本部 〒812-8576 福岡市博多区東公園7番7号
 生活安全総務課 TEL/092(641)4141(内線3025,3044) ホームページ/ http://www.police.pref.fukuoka.jp

福岡県のニセ電話詐欺の被害状況

■被害額と被害件数

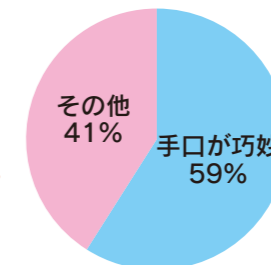
	H28.8月末	H27.8月末	増減
件数(件)	220件	326件	-33%
被害額(億円)	4.5億	14.0億	-68%

毎日の被害額 約 **273万円**
 (平成28年8月末)



■手口を知っていましたが被害に遭われた方の半数以上がニセ電話詐欺の手口を知っていたにも関わらず被害に遭っています。

- 手口を知っていた、なんとなく知っていた56%
- 手口を知らなかった4.4%



■なぜだまされたと思いますか
 被害に遭われた方の半数以上の方が「手口が巧妙だった」と回答しています。

- 手口が巧妙59%
- その他(手口を知らなかった等)41%

気づかせ隊の皆様のご協力により、ニセ電話詐欺の被害件数が約3割減、被害額は約7割減となりました。

しかしながら、本年も8月末現在で220件約4億5千万円の被害が発生しており、毎日273万円の被害が出ています。被害に遭われた方へのアンケート結果を見ると、ニセ電話詐欺の手口を知っていてもだまされています。

知っているてもだまされるニセ電話詐欺 犯人と話さないことが最も効果的!

65歳以上の高齢被害者の91%が、固定電話にかかってきた被害です。

県警察が実施したモニター調査の結果、約9割の方がニセ電話防止機器について「迷惑電話が減った」「安心感を得られた」「機器を紹介したい」と回答しています。

ニセ電話防止機器の活用をご検討ください



- 迷惑電話番号リストの電話番号を自動で着信拒否
- 相手に通話を録音することを事前警告
- 電話に出る前にアナウンスで注意喚起
- 通話内容を自動録音

ニセ電話気づかせ隊による阻止事例

本年中の阻止件数(8月末現在)

- ・金融機関職員……85件
- ・その他の方……204件

家族、通行人、公務員、スーパー店員、コンビニ店員、知人・友人、タクシー運転手、病院職員、配送業者、警備員、介護士、民生委員、ヘルパーなど

金融機関の方による阻止が徹底されたことから、金融機関以外に設置されたATMなどに誘い出す手口が増え、金融機関以外の方の阻止事例が大幅に増加しています。

○スーパーの店員さんによる阻止事例

スーパーの店員さんが、高齢のお客さんが携帯電話で通話しながらATMを操作していたため、お客さんに代わって電話に対応する等して、ニセ電話詐欺の被害を防止しました。



○民生委員の方による阻止事例

民生委員の方が、担当する高齢の女性がスーパー ATM 付近の椅子に座っていたことから話を伺うと「保険金の払戻しをATMで行うから、ここで待つように言われている」と聞き、女性に代わって電話に対応する等して、ニセ電話詐欺の被害を防止しました。

○ヘルパーさんによる阻止事例

ヘルパーさんが、担当する高齢女性がタクシーを手配していたので、話を聞くと「医療費の払戻しを受けるためATMに行く」と答えたことから、ニセ電話詐欺であることを女性に気づかせ、被害を防止しました。



ニセ電話気づかせマイスター

声掛け等によりニセ電話詐欺の被害を2回以上阻止したニセ電話気づかせ隊の方を「ニセ電話気づかせマイスター」に認定しています。



●ファミリーマート福岡老司店 店長 末崎泰成さん
電子マネーカードを購入していた被害者に声掛けを実施して、ニセ電話詐欺(架空請求詐欺)の被害を未然に防止しました。昨年末に続き今回が2回目の阻止事案であったことから、ニセ電話気づかせマイスターに認定されました。
末崎さんは「これからも騙されている人が居たら積極的に声掛けをして、自分の店から被害者が出ないように頑張りたい」と話してくれています。

本年9月には、西日本シティ銀行の行員さん3名が新たにニセ電話気づかせマイスターに認定され、現在ニセ電話気づかせマイスターは12名となっています。

「私は大丈夫」と思う人ほどだまされる!?
明日はわが身と心得よう! ニセ電話詐欺の手口は日々変化!!

手口1 スーパーのATMに誘い出す

犯人は、医療費や保険料の払戻しがあると言って、あなたを金融機関の職員がいないスーパーなどのATMに誘い出し、電話で操作手順を指示し、お金を犯人の口座に振り込ませてだまし取ります。

手口2 博多駅などにおびき出してお金をだまし取る

犯人は、あなたの息子を名乗り「女性を妊娠させた」「会社の金を落とした」などのトラブルを口実に、お金を用意させて駅などにおびき出し、お金をだまし取ります。

手口3 次から次に新しい口実が作り出される

犯人は、

- 有料サイトにあなたが登録されていると言って、解約料金を口実にお金を指定口座に振り込ませる
- あなたに老人ホームの入居権利があると入居を促し、あなたが断ると、ほかに希望者がいるから名義を貸してほしいと頼み込み、後になって警察や弁護士を名乗る犯人が「名義貸しは犯罪」「裁判になる」「逮捕される」などと言って、あなたのお金をだまし取る

などのさまざまな口実であなたのお金をだまし取ります。



ニセ電話詐欺のことを覚えてもらうにはチラシが効果的!



- チラシについては、警察署で提供いたします。
- 必要な方は、最寄りの警察署の生活安全課に電話でお問い合わせください。

お問い合わせ先 福岡県警察本部生活安全総務課
☎092-641-4141